

第2回府中市市民協働推進会議 会議録

- 日 時 令和元年8月7日(水)午後3時半～午後5時まで
- 会 場 市役所北庁舎5階会議室
- 出席者 (委員)
藤江会長、武田副会長、秋山委員、上木委員、岡田委員、
谷本委員、徳田委員、丸森委員、丸山委員、吉井委員
(事務局)
堀江市民協働推進部長、前澤協働推進課長、金崎協働推進課長補
佐兼都市交流担当副主幹兼支援係長、元田協働推進係長、黒田事
務職員、高田事務職員
- 欠席者 伊浪委員
- 傍聴者 2名
- 議 事
 - 1 開会
 - 2 議題
 - (1) 提案型協働事業選考部会の検討状況について
 - (2) 協働事業評価部会の検討状況について
 - (3) 令和2年度提案型協働事業の応募状況等について
 - (4) 府中市市民協働推進行動計画の進捗状況について
 - (5) その他
- 資 料
 - 1 府中市協働事業 第三者評価シート(平成30年度提案型協
働事業・案)(資料1)
 - 2 府中市協働事業 第三者評価シート(協働事業・案)(資料2)
 - 3 令和2年度提案型協働事業応募内容一覧(資料3)
 - 4 府中市市民協働推進行動計画進行管理シート(資料4)

1 開会

(会長) 定刻になりましたので、第2回府中市市民協働推進会議を開会いたします。事務局から本日の委員の出席状況などについて、報告をお願いします。

(事務局) 本日はご多忙のところ、本会議にご出席いただき、ありがとうございます。事務局から何点かご報告を申し上げます。

まず、本日の出席状況でございますが、伊浪委員から欠席とのご連絡をいただいておりますので、定数11名中10名の委員の皆様に出席をいただいております。

したがいまして、過半数に達しておりますので、本会議は有効に成立していることを併せてご報告いたします。

続きまして、本日の傍聴ですが、現在までに2名のご応募があり、2名の方がいらっしゃっています。傍聴の許可につきまして、本会議のご判断をいただきたいと存じます。

(会長) 委員の皆さんにお諮りします。傍聴を許可してよろしいでしょうか。

(委員) 異議なし。

(会長) それでは、異議がないということですので、傍聴を許可します。

事務局は会場への誘導をお願いします。

(事務局より資料の確認)

(事務局) 最後に、本日の流れについてでございます。

本日の議題については、4点ございます。

1点目が、提案型協働事業選考部会の検討状況についてで、6月3日に行われた平成30年度提案型協働事業の評価について、部会での検討結果をご報告いただくものでございます。

2点目が、協働事業評価部会の検討状況についてで、7月12日に行われた協働事業の評価について、部会での検討結果をご報告いただくものでございます。

3点目が、令和2年度の提案型協働事業の応募状況等についてご報告するものでございます。

4点目が、府中市市民協働推進行動計画の平成30年度の進捗状況についてご報告するものでございます。

事務局からは以上でございます。よろしくお願いいたします。

(会長) それでは、議事を進めます。

前回5月29日に実施した第1回目の会議の議事録につきましては、事前にご確認いただいておりますが、修正等でお気づきの点はございますか。

よろしいでしょうか。
それでは、議事録として確定いたします。
事務局は、前回の議事録及び資料を公開するよう手続きをお願いします。
ます。

2 議題

(1) 提案型協働事業選考部会の検討状況

(会長) それでは、議題1「提案型協働事業選考部会の検討状況」について、
吉井部会長からご報告をお願いします。

(部会長) 提案型協働事業選考部会ですが、6月3日に開催された平成30年度
の市民提案型協働事業の報告会に出席し、部会として4事業の評価
を実施しました。

評価結果については資料1のとおり、「映画『日本と再生』上映・
討論等による府中市スマートエネルギー都市構想実現の機運醸成事
業」がB評価、「広がれ こども食堂 繋がれ 支援のわ～地域で作
るこども支援の仕組み～」がS評価、「MOA美術館府中児童作品展
巡回展」がC評価、「ワークショップ『輝け！みんなのふうせん金メ
ダル』」がA評価としています。

まず「映画『日本と再生』上映・討論等による府中市スマートエネ
ルギー都市構想実現の機運醸成事業」の評価結論ですが、「双方が役
割を果たし、歩み寄りながら事業を進めているが、目的共有や情報共
有が一部不足している。事業計画段階からコミュニケーションを密に
することで、より相乗効果の高い事業となる。多くの主体間の連携や
若い世代へのアプローチなど、課題が認識されているため、今後の展
開に期待する。」としました。

次に、「広がれ こども食堂 繋がれ 支援のわ」は、「こども達を
地域で支える仕組み作りとして、適切な事業である。相互理解ができ
ており、お互いの強みやネットワークを活かし合うことで、協働事業
として相乗効果があった。将来の課題やビジョンも明確である。市の
横断的な協力体制を継続していくとともに、関係団体や事業者との連

携を深めることで、更なる発展が期待できる。」としました。

次に、「MOA美術館府中児童作品展 巡回展」ですが、「相互理解や情報共有が不足しているため、意識しながらより密にコミュニケーションをとる必要がある。市がより積極的に関わり、分野に捉われず他部署との連携を図り、橋渡し役を担うことを期待する。横の連携を強化することで更なる事業の広がりが期待できる。」としました。

次に、「ワークショップ『輝け！みんなのふうせん金メダル』」ですが、「情報共有、目的共有ができており、定量目標を定め、それに向けて一体感を持って取り組んでいた。また、相互理解ができており、お互いの強みを活かし合うことで相乗効果が生まれていた。東京2020オリンピック・パラリンピック後のレガシー創出に向けた展望を明確にし、関係団体との連携を深めることで、更なる発展に期待できる。」としました。

今回はC評価からS評価まで、4事業すべて評価が分かれました。

S評価とした事業は、相互理解や情報共有がしっかりとできており、市側も関連部署と横の連携を取りながら積極的に取り組んでいました。

逆にC評価とした事業は、相互理解や情報共有が不足しており、団体側の熱意に対して市側が消極的であるように感じました。

(会長) ありがとうございます。他の部会員の皆様にもお伺いしたいのですが、評価をしてみたの感想や評価に当たって気を付けたこと、協働事業についての印象などお聞きできればと思います。徳田委員、いかがでしょうか。

(委員) 今回、4事業の評価がS・A・B・Cと分かれました。目的共有の観点で、目指すべき姿が一致していて、市側と団体側がお互いに主体的に取り組めて、さらに今後の発展が期待される事業の評価が高かったと思います。

SとAの差は、発展性が具体的だったと思います。

逆に、目的共有の最初のところからズレが生じていると、お互いの思いが異なっているところで、特に市側の積極的、主体的な姿勢が欠けていたと思います。できるだけの協力やお手伝いといった姿勢があったところからも、お互いが主体的にといったところが不足していてこの評価につながったのかと思います。

（会長） ありがとうございます。上木委員いかがでしょうか。

（委員） 評価が高い事業は、発表の雰囲気がよく、そういったところからも市側と団体側の関係が伝わってきたと思いました。

（会長） ありがとうございます。

部会員の皆様にお伺いしたいのですが、第三者評価シートや評価方法について、評価しづらい点や疑問点、改善したほうがよい点について、意見等がありますか。

（部会長）数値化することによって、従来と違って評価方法としてしっかりしたと思います。私は、前期も委員でしたので、前期は評価するグループによって差が生じてしまうと思っていましたが、数値化することで一定のレベルの評価結果になると思いました。

（委員） 明確に評価基準表があって、積み上げていく形だったので、評価としてはやりやすく、公平な目線で評価することができたと思います。

（会長） ありがとうございます。部会員の皆様から感想や評価方法についてご意見をいただきましたが、委員の皆様から質問はございますか。

（副会長）「MOA美術館府中児童作品展 巡回展」について、評価がCということで、評価結果でも、協働の視点の項目でも、市が消極的ということですが市側がもう少しということでしょうか。

（部会長）教育委員会が消極的だったということがあります。例えば、展示の施設を探せば、もっと協力してくれる施設はあったと思いますが、その辺を怠ってしまったため、限られた場所での展示になってしまった印象があります。

（会長） 発表の時の雰囲気が評価と相関関係があるといった話が委員からあ

りましたが、過去においても、発表の時の雰囲気から関係性が伝わってくることはありました。事業によって変わってくるかと思いますが、市がミニマムな関わり方で良いものもあれば、ゼロから始めていくものもあります。そういう意味でも、「MOA美術館府中児童作品展 巡回展」は、どういう風に関わっていけばよいかということも含めた、協働の共有する部分が足りていなかったのかと思います。

何か関わり方といった面で、事務局から補足はありますか。

（事務局）MOA美術館府中児童作品展実行委員会と担当課である指導室は、以前から、MOA美術館府中児童作品展実行委員会の事業を指導室が後援している関係がありました。その経緯の中で、実行委員会より補助金という形で事業を展開したいという話があった際に、古くからの事業であったからこそ、新しい関わり方を模索しきれなかったと感じております。

（会長） 今回から補助金になったのですか。

（事務局）はい。今まで、後援として事業を実施しておりましたが、今回市民提案型協働事業として採択され、平成30年度に実施いたしました。

（会長） 協働の形が変化した中で、今回のC評価はメッセージになるかと思っています。その他にございますでしょうか。

それでは、評価結果について確認いたします。

平成30年度提案型協働事業の評価結果は、資料のとおりということでしょうか。

（委員） 異議なし。

（会長） 提案型協働事業選考部会員の皆さま、短い時間の中で4事業の評価はハードだったと思います。大変お疲れ様でした。

次回は、答申案全般について、確認し、議論していくことになりま
すので、事務局は、本日出た意見についても、資料に反映するよう、
お願いします。

(2) 協働事業評価部会の検討状況について

(会長) それでは、議題2「協働事業評価部会の検討状況」について、谷本
部会長からご報告をお願いします。

(部会長) 協働事業評価部会ですが、7月12日に担当課及び団体へのヒアリ
ングを行い、部会として2事業の評価を実施しました。

評価結果については資料2のとおり、「多摩川清掃市民運動」、「異
業種交流促進事業」とともにS評価としています。

まず「多摩川清掃市民運動」の評価結論ですが、「多くの主体が目
的を共有し、連携しながら一体感を持って実施している事業である。
現状の課題と将来のビジョンも明確であり、多摩川を軸とした他自治
体との広域的な連携を図ることで、更なる発展が期待できる。」とし
ました。

意見としては、多摩川を一本として、行政が協力して行う大きな形
も期待ができると感じました。

次に、「異業種交流促進事業」は、「異業種交流が効果的に進んでお
り、成果がでている事業である。相互理解や役割分担がしっかりとで
きており、会場変更や就職相談会の実施等、お互いの強みをいかした
新たな試みへの積極性も感じられる。様々な主体を巻き込んだ更なる
事業の発展に期待する。」としました。

異業種は、府中だけでなく、全国的に求められているものなので、
今後とも積極的に進めてもらいたいと思いました。

今回は両事業ともS評価という結果になりました。

両事業とも長年継続している事業ですが、相互理解や役割分担がしっ
かりとできていると感じました。

(会長) ありがとうございました。他の部会員の皆様にもお伺いしたいので
すが、評価をしてみたの感想や評価に当たって気を付けたこと、協働
事業についての印象などお聞きできればと思います。

岡田委員、いかがでしょうか。

(委員) 今回2事業の評価を行って、共に3つの共通点があると思いました。

1つ目は、長い間取り組まれており、継続性がある事業という点です。

2つ目は、多摩川の清掃、地元産業の発展に貢献しており、両事業とも公益性が高い事業であるという点です。

3つ目は、両事業とも今後の発展性が期待できるという点です。多摩川清掃については、府中だけではなく、近隣の市町村とタイアップしてくことで発展性が期待できると思いました。異業種交流事業については、高校生への働きかけをして、展開していきたいとおっしゃっていました。これら3つの継続性、公益性、発展性を考慮して、S評価としました。

（会長） ありがとうございます。丸山委員いかがでしょうか。

（委員） 両事業とも、長い間続いている事業ということで、協働という言葉が使われる以前から協働で実施できていた事業だと思います。

また、協働という言葉が使われるようになってからも、協働に添った形、内容を見直すことで、行政と団体が担う部分がそれぞれ明確になったのではないかと思います。それをもとに、今後より一層発展させ、市民の方に周知していただき、内容も工夫していただくことを期待したいと思いました。

（会長） ありがとうございました。部会長からの報告に加え、岡田委員からは、継続性、公益性、発展性の3つの共通点についての報告と、丸山委員からは、協働という言葉が一般化する前から行われていたし、一般化されてからは、協働に沿った形で役割分担も明確になってきたということでした。環境など色々な変化に対応してきたということや、発信の場がもっとあってもよいといったニュアンスの話もありました。

また、第三者評価シートや評価方法について、評価しづらい点や疑問点、改善したほうがよい点について、意見等がありますか。

（委員） 多少かぶる点があるように感じましたが、ポイントが明確で評価し

やすかったです。

（部会長） 昨年より、数値化しやすかったと感じました。

（会長） ありがとうございます。

それでは、協働事業評価部会の検討状況の結果について、委員の皆さんから質問はございますか。

（会長） それぞれの事業、長い間実施されているということですが、いつから実施されていますか。

（事務局） 事業開始年度ですが、多摩川清掃市民運動については、昭和49年度、異業種交流促進事業の府中工業技術展については、平成2年度からとなっております。

（会長） 協働という言葉ができる前から実施している事業ということで、重みを感じますし、異業種という言葉も産業構造が変化していく中で、使われるようになった言葉で、国全体の変化を反映していく中でも、府中で知ってほしいことがたくさんあるということだと思います。

その他、委員の皆さんから質問はございますか。

（副会長） 多摩川清掃市民運動についてですが、先ほど今後の展望として、大きな地域に広げていければという話をいただきましたが、実際にそういった可能性はありますか。

（委員） 現状として、おそらくですが地域ごとに類似の取組を行ってはいけるものの、まとまってとなると音頭を取る行政がないので、音頭を取る行政が出てくれば、広がっていくのではないかと思います。また、同日に実施することで、アピールが強まると思います。

（委員） 近隣市がどのように実施しているか分かりませんが、府中は協働で実施していますし、せっかく地域で、草の根活動のように実施しているものを大きくすることはもったいないような気がします。

ただ、同日に実施してもらえれば、自転車に注意が必要ということで、府中市民には周知されていても、近隣市から自転車に乗ってくる方もいらっしゃいますので、そういった面で、近隣の3市、4市が少

しずつ連携できると良いと思いました。

(会長) 検討する中で、私たちもどこにアプローチしなければならないかということが分かるのは、市の方が一番ご存知ですので、共有していければと思います。

(委員) 多摩川清掃市民運動について、今回S評価でしたが、PRを強化することで、今後も綺麗にさせていただき、継続してS評価となるようにしていただきたいと思いました。

(会長) 多摩川は公共性をもった場ですので、どのようにいかしていくかは大事なテーマだと感じました。

それでは、評価結果について確認します。

平成30年度協働事業の評価結果は、資料のとおりということでしょうか。

(委員) 異議なし。

(会長) ありがとうございます。協働事業評価部会員の皆さま、大変お疲れ様でした。事務局は、本日出た意見についても、資料に反映するよう、お願いします。

(3) 令和2年度提案型協働事業の応募状況等について

(会長) 続きまして、議題3「令和2年度提案型協働事業の応募状況等」について、事務局からお願いします。

(事務局) それでは、「令和2年度提案型協働事業応募状況」について、ご説明いたします。

恐れ入りますが、資料3をご覧ください。

令和2年度に実施を希望する事業につきましては、5月11日から、6月10日までの期間を事前相談期間、7月5日を提案書提出期間とし、提案団体、担当課、市民活動センターと協働推進課との四者打合せを経て、最終的に、市民提案型協働事業3事業となりました。提案をいただいた各事業の概要について、ご説明いたします。

1件目の事業ですが、府中市の遺産の活用を考える会により提案された「武蔵府中郷土かるた選手権」です。

これは、市内小学生を対象に「武蔵府中郷土かるた」選手権の予選会及び本戦を実施するものです。担当課は文化スポーツ部ふるさと文化財課です。

2件目の事業ですが、琵琶と語りの会・府中により提案された「『平家物語』を題材に『音に乗せた語り』を体験する日本語ワークショップ」です。これは、「平家物語」を題材に古典文学の^{あんしやう}暗誦や、^{あんしやう}暗誦を琵琶の音楽に乗せて「音に乗せた語り」を体験するワークショップを実施するものです。担当課は文化スポーツ部文化生涯学習課です。

3件目の事業ですが、府中カルチャーズ&コネクションズにより提案された「留学生・市民・市が一緒に創る多文化共生推進 project」です。これは、留学生や外国人市民の体験談を聞き、理解を深めるワークショップの実施や、留学生等が地域のイベントや障がい者スポーツを体験し、多文化共生について理解を深めるとともに、留学生が主体となった交流会を開催するものです。担当課は市民協働推進部協働推進課です。

事業についての説明は以上でございますが、この3事業について、8月9日（金）に公開プレゼンテーションを開催いたします。提案型協働事業選考部会員の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局からは以上でございます。

（会長） 説明が終わりました。ご質問等ございますか。

それでは提案型協働事業選考部会員の皆様、お忙しい中申し訳ありませんが、よろしくお願いいたします。

（4） 府中市市民協働推進行動計画の進捗状況について

（会長） 続いて、議題4「府中市市民協働推進行動計画の進捗状況」について、事務局からお願いします。

（事務局） それではご説明いたします。

府中市市民協働推進行動計画の進捗状況につきましては、「府中市協働事業等評価制度実施基準」において、原則として、毎年度、進捗状況

を把握し、本会議に報告することとなっています。

恐れ入りますが、資料４「府中市市民協働推進行動計画進行管理シート」をご覧ください。

施策としては、３５施策ございますが、番号３２「市民協働推進行動計画の見直し」が、平成２９年度に完了しているため、平成３０年度は３４施策が対象です。３４施策中、「計画通りに進んでいる」が３１施策、「計画通りに進んでいない」が３施策、「完了」、「未着手」はございません。

「計画通り進んでいない」施策についてご説明いたします。

１つ目が番号１１「職員が公益的な活動に参加しやすい環境の推進」でございます。当施策については、職員課が平成２９年度にボランティア休暇の対象範囲の拡大を行いましたが、制度の拡大を行って以降、取得促進のための周知等を行っていなかったことが理由でございます。

２つ目が番号１８「市民活動拠点施設の運営に係る市民意見の反映」でございます。利用者アンケートなどを実施し、市民意見を施設運営へ反映させる仕組み作りを行っているものの、運営協議会の設置については検討にとどまったことが理由でございます。

３つ目が番号３０「附属機関等に係る公募市民卒の拡充」で、公募委員が在籍する附属機関等の割合が、前年度比マイナス１．４パーセントであることが理由でございます。

事務局からは以上でございます。

（会長） 説明が終わりました。ご質問等はよろしいでしょうか。

（委員） 番号７「大学・学生への市民協働に係る情報提供及び相談窓口の充実」についてですが、どのようなことをしているのでしょうか。

（事務局）こちらは、昨年政策課から協働推進課へ移管された事業になります。

内容としては、市内にある大学のうち、東京農工大学、東京外国語大学、明治大学と協定を締結しており、各大学と個別の事業を実施するとともに、今年度はお互いが持っている知識、人材、施設などの資源を活用していくため、四者間の協議を行っております。

（会長） それぞれの大学と個別に行われている事業はたくさんあるということでしょうか。

(事務局) はい。それぞれ個別にございます。

(副会長) 東京外国語大学では、国際交流サロンでの日本語学習支援などの学生ボランティアや図書館の貸し出し本など数多くの事業がございます。

おそらく、今は個別にそれぞれ進めていますが、今後は四者間でもより連携して進めていきたいということだと思います。

また、東京外国語大学、東京農工大学との連携事業については、前回会議の資料にも記載があったと思います。

(会長) 学生は、自分が出身の小中学校は知っていても、中々府中市に関わる機会がないこともあるかと思いますので、大学との連携は一つのきっかけになるかと思います。

学生も4年から6年ほどでメンバーが変わってしまうことが悩ましいですが、府中市に関わるきっかけになるような枠組みが作られているということでした。

その他にいかがでしょうか。

(委員) 番号30「附属機関等に係る公募市民卒の拡充」についてですが、計画通りに進んでいないということですが、課題として、専門的知識、経験を有する者を委員とする場合とありますが、このような場合は、対象から除外して良いと思いましたが、あくまでも専門的な委員会も対象に含めていくものでしょうか。

(会長) 数値目標の計算の定義についてですが、事務局いかがでしょうか。

(事務局) 公募委員が在籍する附属機関等の数値につきましては、現在活動している附属機関等の総数のうち、公募委員が在籍している数で割合を出している状況でございます。その割合が減少しているため、計画通り進んでいないと回答いただいたものですが、委員ご指摘のとおり、専門性の部分で公募委員の参加が難しい附属機関等もあるかと思しますので、その点につきましては、今後、政策課とも確認を行いながら、より実情に沿った形での回答をいただくよう努めてまいります。

(委員) 4回連続で計画通りに進んでいないのは、いかがなものかと思って

しまいますが、正当な理由があるので考慮すべきだと思いました。

（委員） 専門性の点を除外すれば、数値が違ってくると思います。

（事務局） 今、委員よりいただいたご意見でございますが、ごもっともでございます。政策課からいただいた数値をそのまま計算しておりましたが、高度な専門知識を要する附属機関等を数値に含めて計算して、計画通りに進んでいないとするのは、目指しているところと測っている指標が違ふような気がしますので、実情に則した形で検討してまいります。

（会長） 公募市民枠の到達目標と併せて、到達しているかどうかもまた、数値として大事かと思います。一応充足されているが、数値として下がっているのがこの数値なのでしょうか。

（事務局） 附属機関等という中で、審議会や協議会など様々あり、附属機関について見直しがされました。そのような余韻が一部残ってしまっている関係もございます。委員ご指摘のとおり、4回連続で計画通りに進んでいないのは芳しくありませんので、数値の出し方については検討させていただければと思います。

決して、進んでいないわけではございませんが、専門職でなければいけない附属機関等もありますので、分けて見る事が出来るように計算したいと思います。

（会長） その他いかがでしょうか。

（委員） 番号2「市民協働出前講座の実施」について、実施回数が直近の三年間で0回から1回と推移していて、次年度へ向けた取組についても同じ内容となっておりますが、計画通り進んでいると捉えてよろしいのでしょうか。

（事務局） 番号2「市民協働出前講座の実施」についてでございますが、委員ご指摘のとおり、講座要請回数が0回で計画通り進んでいるとは言いがたいと思います。そこで、市民協働出前講座をホームページで周知するだけでは申込みいただくことが出来ないと思い、平成29年度、30年度は、こちらから声かけを行い1回ずつ実現した経緯がござい

ます。

ただ、１回という数字も、まだまだ低い数字だと捉えておりますので、今後伸ばしていけるようにしなければならないと考えております。

（会長） 今説明いただいたように、個別に声をかけていくことはしているけれども、中々拡がりというところで難しい面もあるようです。

（委員） 進行管理シートに記載されていることしか分かりませんが、２年間連続で同じ状況が続いている状況で、同じ取組が書かれていて、このままで良いのか、検討しなければいけないかと思いました。

（会長） どういった表現が相応しいのかということはあるかもしれませんが進捗状況についての報告ということで、苦しみながらも計画通りに進んでいるという捉え方もできるかと思います。

進捗状況について、この会議で変更することは可能でしょうか。

（事務局） はい。可能でございます。こちらは、各課が実施している事業について、計画通り進んでいるかを判断して記載しているものであって、会議に報告した結果、計画通りに進んでいるに値しないと判断された場合は関係課と調整を行い、より積極的に計画の達成に取り組むよう打診することになります。

（会長） 当初目標回数など設定されていた数字はありましたか。

（事務局） それぞれに数値目標があるということではございませんが、数値目標があるものについては、記載がございます。

（会長） 評価については、「計画通りに進んでいる」、「計画通りに進んでいない」、「完了」、「未着手」の４つということで間違いありませんか。

（事務局） はい。その通りです。

（会長） 番号２について、計画通り進んでいるとは、数値としてやや気になる点ではありますが、０回から１回ということで、目標数値がなく積極的に実施しますということで記載がありますので、計画通りに進んでいると捉えるのであれば、表現はこのままでも良いかと思いますが、

いかがでしょうか。

（委員） 進捗状況の表現を変えてくださいということではなく、進行管理シートだけを見ると、計画通り進んでいるという評価に疑問があり、このままで良いのかを確認していただきたかったので、確認した結果であれば、特段このままで問題ありません。

（会長） 本日の会議では、説明いただいた状況の中で、計画に向けて進んでいると理解し、計画通りに進んでいるという表現でよろしいでしょうか。

（委員） 事務局へのお願いですが、資料の右端にも番号を入れていただくと良いと思います。

また、計画通りに進んでいないものについては色分けしてはいかがでしょうか。

（会長） 事務局は、要望として検討していただければと思います。

その他にご質問等はございますか。

様々なお質問や提案などありがとうございました。

それでは、府中市市民協働推進行動計画の進捗状況についてご確認いただいたということでよろしいでしょうか。

（委員） 異議なし。

（5） その他

（会長） それでは、その他として事務局から何かありますか。

（事務局） 次回の会議の日程についてお伝えいたします。

次回は8月30日（金）午後3時から行います。

内容といたしましては、2点ございまして、1点目が平成30年度協働事業等評価結果答申（案）の確認について、2点目が令和2年度提案型協働事業の答申（案）についてです。

8月9日に提案型協働事業の選考が行われる関係で、2点目の資料については、状況により当日の配付となる可能性がございますので、ご承知おきください。

（会長） それでは、次回の会議は８月３０日ということで、よろしくお願いします。

以上をもちまして、閉会いたします。お疲れさまでした。

以上